

清田区シニアスクール（11月12日）
「北海道の財産 ～積雪寒冷気候の魅力～」

活 動 報 告

今回の授業は、「積雪寒冷地と言われている北海道の魅力と可能性について」受講生とともに考えてみましょうという内容で臨みました。

講義に先立って、受講生に事前アンケート（資料1）を配布して当日回答を持参してもらいました。受講生全員から非常に多くの回答が寄せられ、講義はこの回答結果を所々で紹介しながらテーマについて一緒に考えてもらうという形式で進められました。アンケート結果を要約整理したものが（資料2）です。

（資料3）は当日私から配布した講義用レジュメです。

アンケートの前半は冬の北海道に抱いているイメージに関するもので、後半は迫り来る地球の危機に関する意識調査と、自分が今為し得る温暖化対策として何があるかを聞きました。

皆さんからの回答は概ね私の予想していた内容でしたが、私からは雪氷という冷熱エネルギーが私たちの生活、産業、環境に如何に有益なのかを事例を挙げながら説明しました。また、自然の寒さだけではなく、深夜電力を使って作られた氷を日中の例熱源として使用することで環境にどのような波及効果が得られるのかについても説明しました。

講義を通して、北海道という地域は雪氷があるからこそアジアの食料備蓄基地となる可能性が高く、世界の食糧安定供給にも貢献できる唯一の地域であるとともに、北海道農業の振興のためにも雪氷は極めて有力な武器になるはずですということを理解してもらうとともに、積雪寒冷地という条件は決してハンディキャップではなく、むしろ他の地域では決して得られない貴重な財産であることに気付くべきと訴えました。そして、私たちは北海道の厳しい寒さ・雪氷という天賦の財産を大いに活用することこそが、地球環境の保全や温暖化防止に繋がるということを力説して講義を終えました。

講義終了までに5分ほど時間を残すことが出来ましたので、受講生からの質問時間としましたが、何人もの方から真剣な質問が出され、私の講義内容が充分理解されたとの実感を得ることができました。

（文責：船越 元）